

科目名	作曲理論V	形態	講義	開講期	春学期
担当教員	高橋 裕・武野 晴子	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

様々な時代の作曲家の室内楽およびコンチェルト作品の分析、研究をする。
 いろいろな楽器の組み合わせの技法や魅力を理解し、以後の作曲にその知識を活用できるようにすることを目標にする。

＝履修の条件と学習の方法＝

自分の言葉で分析が進められる様、予習をしておくこと。
 また、研究したい楽曲を自ら選ぶ、という積極性も期待したい。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 モーツァルト、ベートーヴェン等古典派の楽曲の研究（その1）
- 3回 モーツァルト、ベートーヴェン等古典派の楽曲の研究（その2）
- 4回 モーツァルト、ベートーヴェン等古典派の楽曲の研究（その3）
- 5回 シューマン等ロマン派の楽曲の研究（その1）
- 6回 シューマン等ロマン派の楽曲の研究（その2）
- 7回 シューマン等ロマン派の楽曲の研究（その3）
- 8回 シューマン等ロマン派の楽曲の研究（その4）
- 9回 ブラームス等後期ロマン派の楽曲の研究（その1）
- 10回 ブラームス等後期ロマン派の楽曲の研究（その2）
- 11回 ブラームス等後期ロマン派の楽曲の研究（その3）
- 12回 ブラームス等後期ロマン派の楽曲の研究（その4）
- 13回 ドヴォルザーク等国民楽派の作曲家の楽曲研究（その1）
- 14回 ドヴォルザーク等国民楽派の作曲家の楽曲研究（その2）
- 15回 ドヴォルザーク等国民楽派の作曲家の楽曲研究（その3）

＝成績評価の方法と評価の基準＝

平常点（授業への積極的参加姿勢） 70%
 レポート提出 30%

＝テキスト（必携）＝

特になし